

Café Racer

取扱説明書



お客様へ

この度は、当社のコーヒーマシン「Café Racer」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

ブルーマチックジャパン株式会社

目次

安全上のご注意.....	3
付属品と設置について.....	6
主な仕様.....	7
各部の名称.....	8
ご使用方法.....	11
抽出の操作方法.....	13
抽出ボタンのプログラム方法.....	16
クリーニング方法(お手入れ).....	20
各アラームとトラブルシューティング.....	23
保証とアフターサービス.....	25

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です。必ずお読みください。)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品(電源コードやプラグを含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。

- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをオフにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用しないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置および据付時の注意事項

本製品は、使用および保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだまま使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。



注意

- 設置および据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚濁、変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は 10～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には 0.5 メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、スケール詰まりを軽減させるため軟水装置(浄軟水器)を取り付けることをお奨めします。
- 浄軟水フィルターは定期的に交換してください。

操作を行なう時の注意事項



警告

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの位置に注意をしてください。離れすぎている場合、飛沫やスチームが周辺に飛び、火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないでください。感電の危険性があります。
- ミルク系統の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。



注意

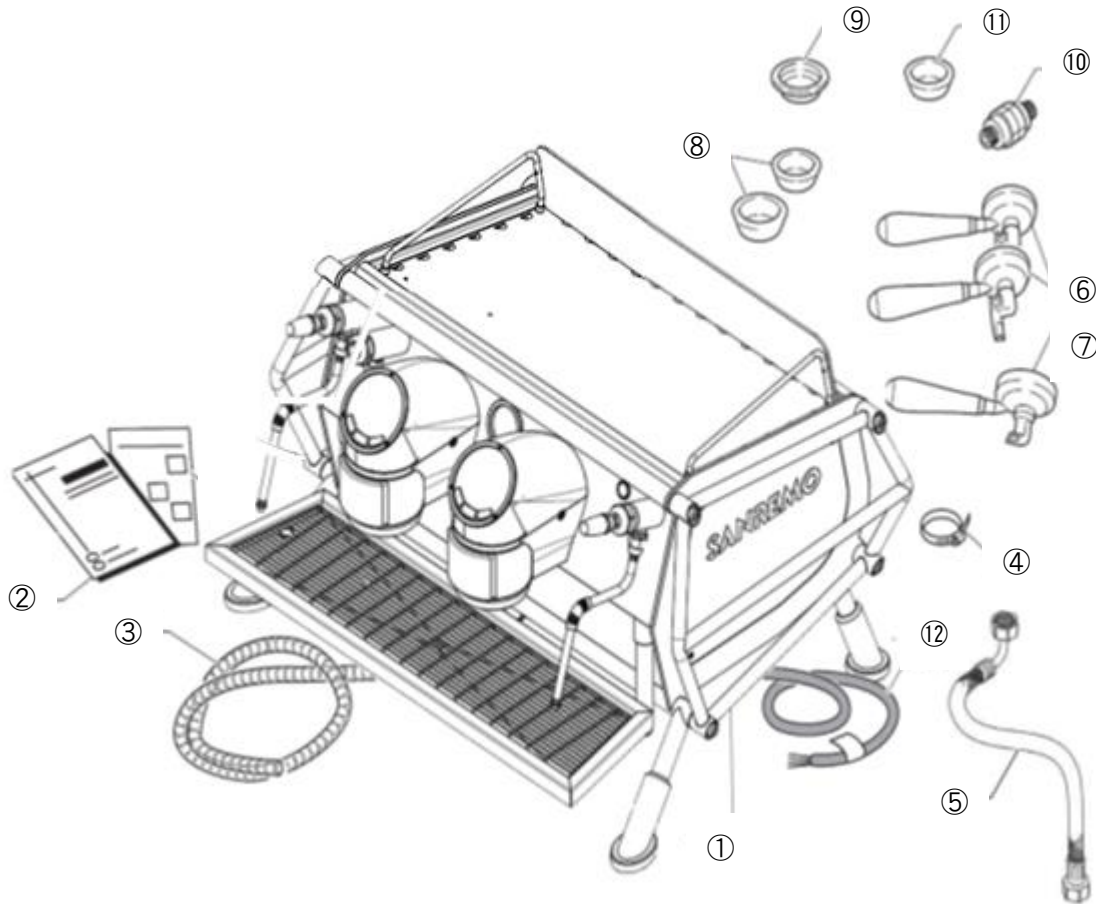
- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- 機器にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンスおよび安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内外に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。
- 機器の清掃には、アルコールなどの薬品は使用しないでください。

付属品と設置について

1. 本体と付属品



① 本体	⑦ フィルターホルダー(シングル用)
② 取扱説明書	⑧ ダブル用フィルター(2個)
③ 排水ホース(2m)	⑨ シングル用フィルター
④ 排水ホース用バンド	⑩ フィルターストレーナー
⑤ 給水ホース	⑪ ブラインドフィルター
⑥ フィルターホルダー(ダブル用2個)	⑫ 電源ケーブル

2. 設置

本体は安定した水平な場所に設置してください。

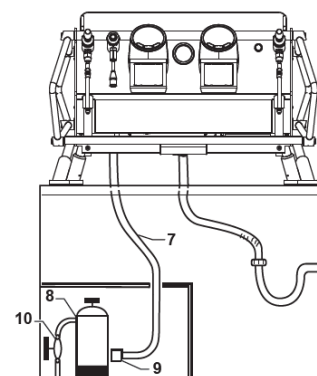
本体周辺は換気のため10cm以上のスペースを空けてください。

本体は約100kgあるため、運搬設置は4人以上で安全に配慮しながら行ってください。

本体変形を避けるため、フレームまたは脚をもって移動させてください。

・給水の接続に関して

給水ホース(7)を軟水化フィルター(8)に接続し、浄水器もしくは浄軟水器に接続し、給水栓(10)を介して水道に接続します。



・給水に関する注意事項

マシンに供給する水はクリーンなものをお使いください。必要に応じ、フィルターを使用します。

水のない状態では動作させないでください。ポンプ故障の原因になります。

水圧は 0.5MPa を超えないようにしてください。

また、水の供給量が少なすぎると正しく動作しない場合があります。

・電源接続

電源およびアースを正しく接続してください。本機は三相 200V(三線+アース)の接続が必要です。

安全のため、アースは必ず接続してください。

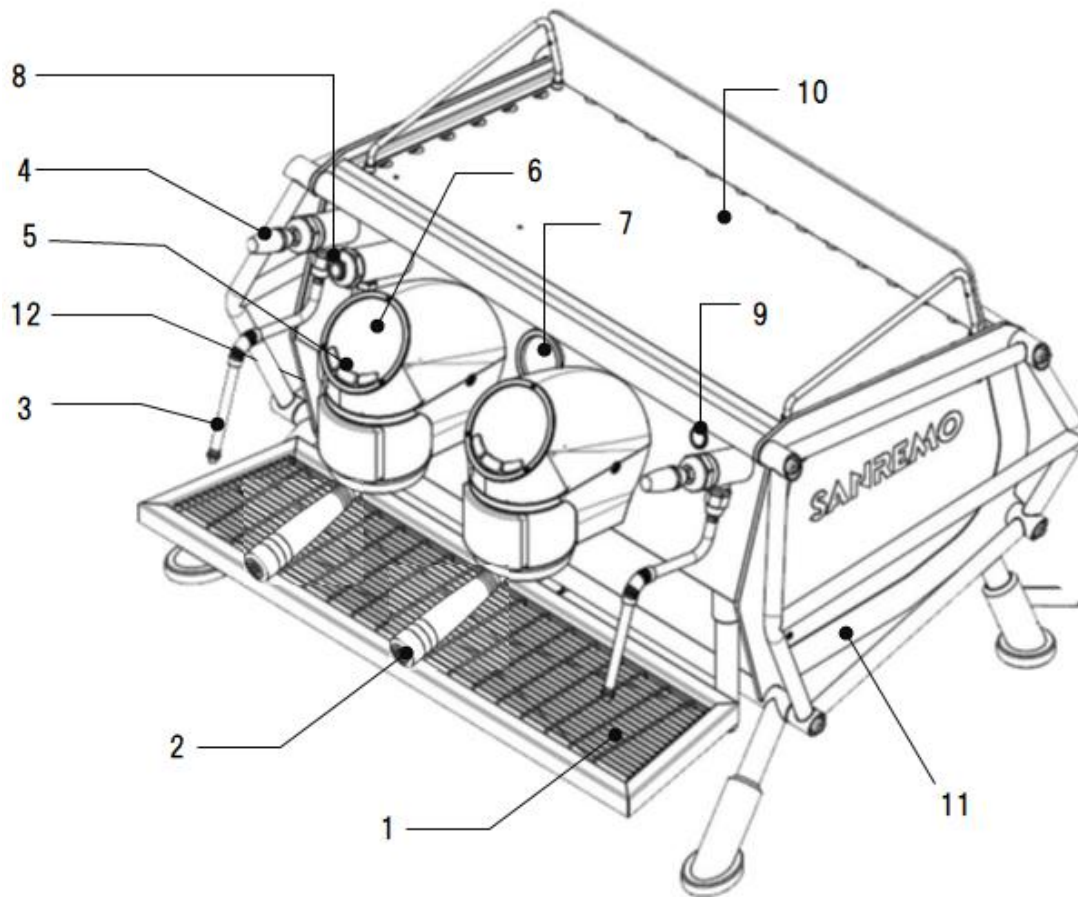
また、電源回路にはサーキットブレーカーを入れてください。

主な仕様

寸法	幅 877mm×奥行 702mm×高さ 534mm
定格電圧	三相 AC200V 50/60Hz
定格消費電力	5600W
必要電流容量	16A 以上
重量	97kg
使用環境温度	5～35℃
保管環境温度	-10～60℃
電源コードの長さ	約 1.8m
ボイラー容量	スチーム 8L プレヒートンボイラー及びグループボイラー 各 1L
ボイラー圧力	0.08MPa～0.15MPa
許容水圧	最大 0.5MPa

各部の名称

各部の名称

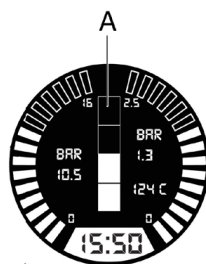
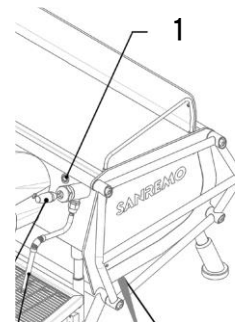


- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 1. 排水トレイ | 7. ボイラーディスプレイ
(ボイラー状態及び温度・水量表示) |
| 2. フィルターホルダー | 8. 給湯ボタン |
| 3. スチームノズル | 9. 主電源スイッチ |
| 4. スチームコック | 10. カップウォーマー |
| 5. 抽出操作ボタン | 11. パージスイッチ(経路の空気抜き) |
| 6. 抽出ディスプレイ(抽出関係) | 12. LED ライトスイッチ |

2. 事前確認(動作確認)

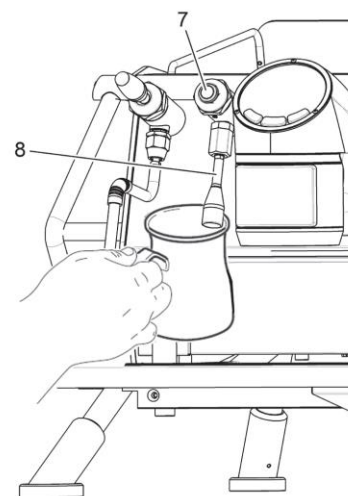
初めて動作させるときは以下の手順で立ち上げてください。

- ・水道の蛇口を開け、主電源スイッチ (1) を押す。
2つのディスプレイ表示が点灯します。
- ・ボイラーへの給水動作が行われ、ディスプレイのA部分が点滅します。
満水になると、Aの表示が点灯状態になります。

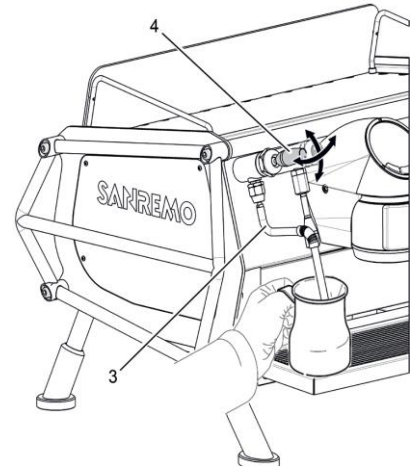


- ・満水になった後、フィルターホルダーを取り付けない状態で抽出ボタンを押し、空気抜きのため数回出します。
(両ユニット)
120 秒以内に水が充填されないと、自動的に停止し表示が点滅します。
- ・本体右底面にあるパージスイッチ(空気抜きスイッチ)を押し、水が正しく流れることを確認してください。
このとき内部の空気を完全に排出してください。
- ・スチームコックを開けて、スチームノズルから蒸気を出し、正常に蒸気が出たらコックを戻します。
- ・ディスプレイに表示されたコーヒー水温とスチーム温度が、それぞれ設定された温度(93°C、124°C)に上がるのを待ち、圧力表示が1~1.2bars(0.1~0.12MPa)となることを確認してください。

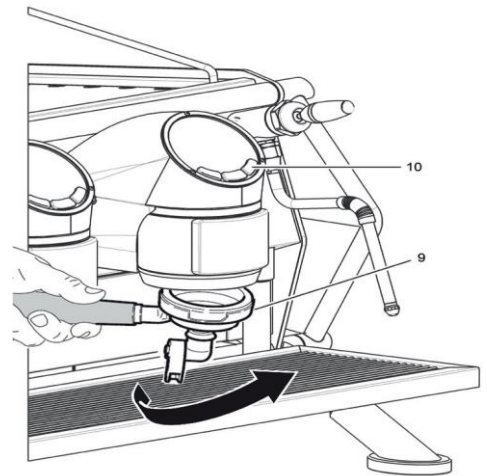
- ・給湯ボタン(7)を押してお湯を流し、設定した水量が出て、自動的に止まることを確認してください。



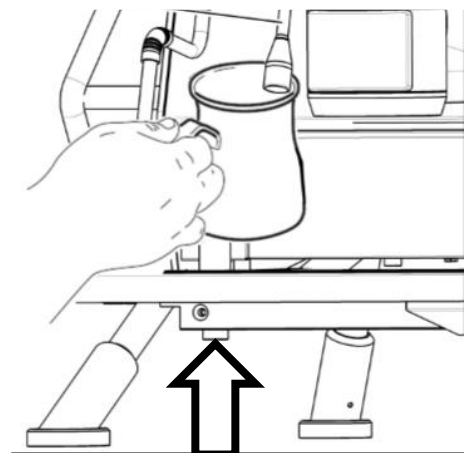
- ・スチームノズル(3)を容器にセットし、スチームコック(4)を垂直または水平に動かし蒸気が出ることを確認してください。
左右両方のスチームノズルを確認してください。



- ・フィルターホルダー(9)をセットし、3種類のコーヒー抽出ボタン(10)を押して、それぞれ正しく抽出されることを確認してください。



- ・ディスプレイに表示されたポンプ圧力が約9bar になっていることを確認してください。
- ・排水トレイの高さは以下のダイヤルを回して調整することができます。



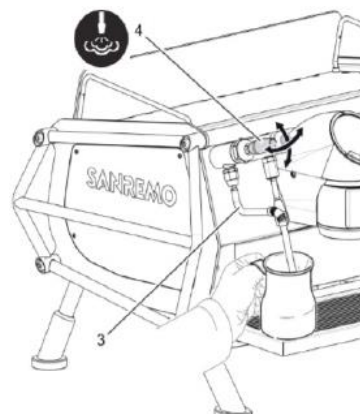
トレイ高さ調整ダイヤル

- ・電源を切るときは、主電源スイッチを押し、併せて水の元栓を締めてください。

ご使用方法

1. スチームノズルの使い方

蒸気コックを左右上下に動かすことで長期ノズルから蒸気が出ます。コックをセンターに戻すと蒸気が止まります。



2. コーヒー抽出ボタン

A～C のボタンで3種類の抽出が出来ます。

A: エスプレッソコーヒーボタン



1杯分のエスプレッソコーヒーを抽出するときは、フィルターホルダー(シングル用)とカップをセットし、Aボタンを押します。
2杯分の抽出を行うときは、フィルターホルダー(ダブル用)をセットし、Aボタンを2回押します。抽出中はAボタンのみ点灯します。

B: 連続抽出ボタン

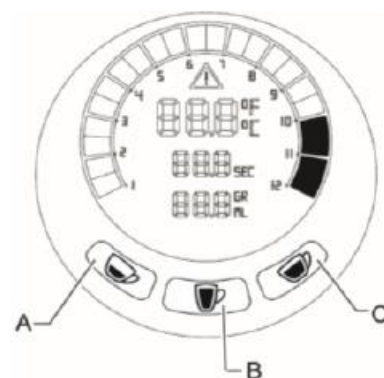


必要な量に応じたフィルターホルダーとカップをセットし、Bボタンを押します。
抽出中はBボタンのみ点灯します。必要な量の抽出が終わったら、再度Bボタンを押して抽出を止めます。
操作しないと120秒後に自動的に動作が停止します。

C: ロングコーヒー抽出ボタン



1杯分のコーヒーを抽出するときは、フィルターホルダー(シングル用)をセットし、Cボタンを押します。
2杯分のコーヒーを抽出するときは、フィルターホルダー(ダブル用)をセットし、Cボタンを2回押します。
抽出中はCボタンのみ点灯します。

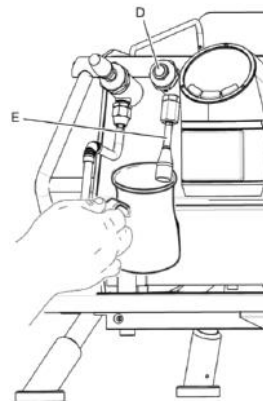


3. お湯の使い方

ボタンDを押すと、お湯が出ます。

設定された時間でお湯は自動的に停止します。

また、抽出中にボタンDを押すことで停止させることもできます。

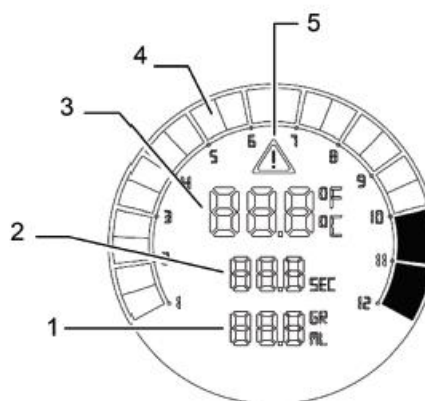


4. 抽出ディスプレイについて

通常動作中の表示は以下の通りです。

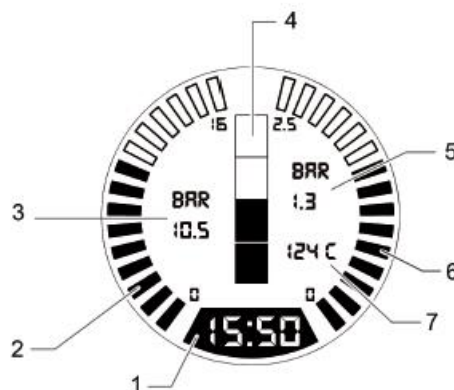
抽出ユニット部のディスプレイ表示

- 1: 抽出する時の水の量(ml)
- 2: コーヒー抽出時間(秒)
- 3: 抽出に使うお湯の温度(°C)
- 4: 抽出 圧力(bar)
- 5: 異常時のアラーム表示



ボイラーディスプレイ表示

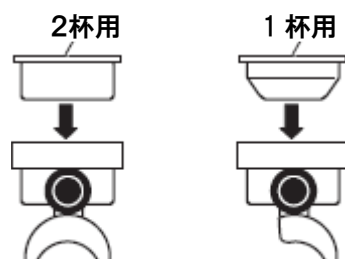
- 1: 時間
- 2: ポンプ圧(デジタル表示)
- 3: ポンプ圧(数値)
- 4: ボイラー内水位
- 5: ボイラー内圧力(デジタル表示)
- 6: ボイラー内圧力(数値)
- 7: ボイラー内温度



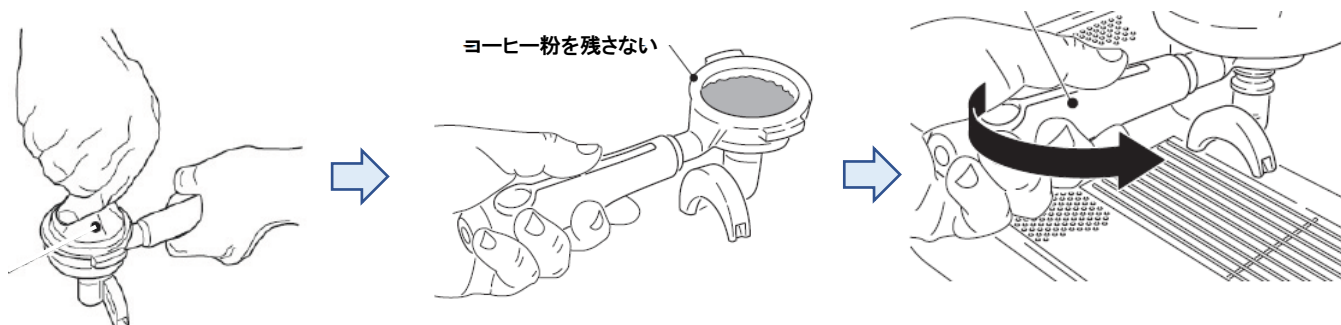
抽出の操作方法

1. コーヒーの抽出

- ・必要に応じて、1杯用か2杯用のコーヒーを準備し、フィルターホルダーをセットし、合わせてコーヒーカップをセットします。フィルターホルダーは1杯用と2杯用で形が異なります。



コーヒー粉を入れ、タンパーで押します。この時、フィルターホルダーの端にコーヒー粉が残らないようにしてから本体にセットしてください。(コーヒー粉が残っていると、お湯やコーヒーが漏れる場合があります。)



- ・ショートコーヒー、エスプレッソコーヒー、ロングコーヒーから抽出したいメニューを選び抽出ボタンを押す。ボタンを押すと、ディスプレイに抽出量が表示されます。
- ・コーヒー抽出レバーを倒し、抽出する。1杯用はレバーを奥側へ、2杯用はレバーを手前に引いてください。抽出した後は、次の抽出までフィルターホルダーは外さず、そのままにしておいてください。

2. コーヒーを抽出する

ボタンを押すことでコーヒーの抽出が行えます。

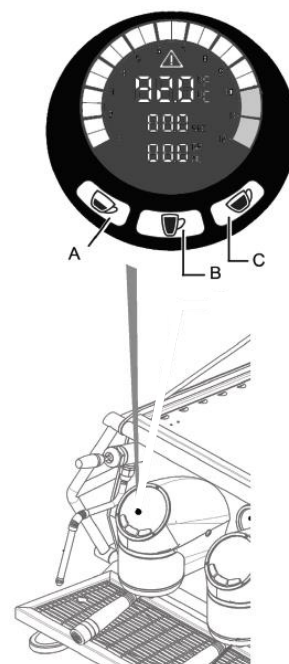
Aボタン:エスプレッソコーヒー

Bボタン:連続抽出

Cボタン:ロングコーヒー

抽出中はそれぞれのボタンが点灯します。

抽出が終了したら、フィルターホルダーを外し、かすを捨ててください。



3. カプチーノを作る

・カプチーノを作るためには、ミルクを65°C～70°Cに温めます。

このとき、スチームノズル(1)は熱くなるので火傷をしないよう注意してください。ノズルを動かすときは、ゴムで保護された部分(3)を持ってください。牛乳は新鮮なものを使ってください。

・スチームノズル(1)の吹き出し口をトレイ上に合わせ、スチームコック(2)を1～2秒空ぶかし、スチームノズル内に残っている水を排出してください。

・牛乳をピッチャーに入れる。ピッチャーはステンレス製で注ぎ口のあるものをお勧めします。

・ミルク表面に少しノズルの先端が入る程度にスチームノズルをセットし、ピッチャーを少し傾けます。

・スチームコック(2)を開けると、ピッチャーの中に渦が出来、泡が立ちます。泡が立ったら、スチームコックを中央に戻し、スチームの噴出を止めます。この時、ミルクの温度は約70°Cになります。

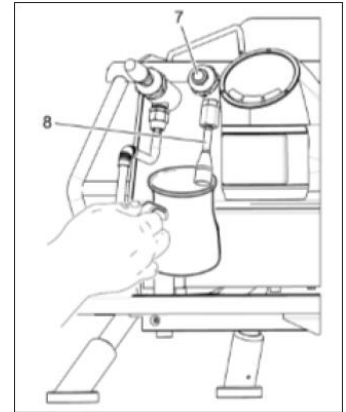
・ノズル先端をピッチャーから出し、ピッチャーの底を軽く叩き、できた泡を安定させます。出来上がったミルクをエスプレッソに注ぎます。

・ミルクを泡立てた後、数秒間蒸気空ぶかしを行い、ノズルに残ったミルクを排出してください。併せてきれいな布でノズル先端を拭き、ノズルを清潔な状態に保つようにしてください。



3. お湯の抽出

- ・お茶やティーなどを抽出する場合は、給湯ボタン(7)を押し、給湯口からお湯を出します。
設定された量が出ると、自動的に止まります。



4. 飲み物を温める

- ・スチームノズル(1)の吹き出し口をトレイ上に合わせ、蒸気コックを1～2秒動かし、スチームノズル内に残っている液体を排出してください。
- ・飲み物をステンレス製ピッチャーに入れ、少しノズルの先端が入る程度にスチームノズルをセットし、スチームレバーを倒して蒸気を出します。温まったら、スチームレバーを中央の位置に戻す。
- ・温め終わったら、蒸気を数秒出し、ノズル内の清掃をしてください。合わせてノズルをきれいな布で拭いて清潔な状態を保つようにしてください。
- ・ノズルは熱いので、やけどをしないよう注意してください。

5. 電源の切り方

8時間以上使用しない場合は、電源を切ることをお勧めします。

電源を切る前に、別項に記載のクリーニングを必ず行ってください。

クリーニング終了後、主電源スイッチにてオフにします。本体電源が切れた後、水の供給を止め、ブレーカを切ってください。

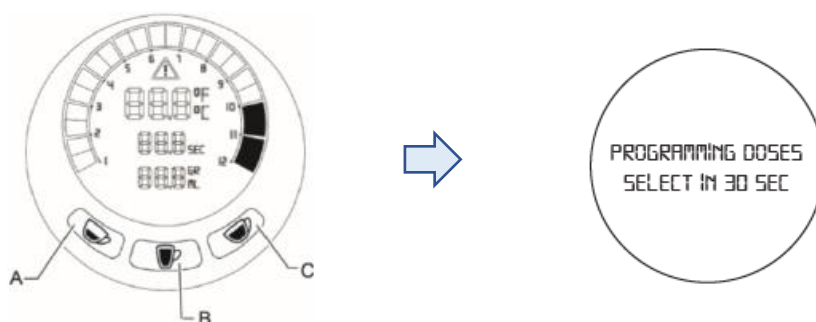
抽出ボタンのプログラム方法

・抽出条件等は、左右のユニットごとにA, B, Cボタンを操作することで設定できます。

1 コーヒー抽出量の設定

・コーヒー量はBの連続抽出ボタンを除くすべてのボタンに対して設定可能です。また、左右のユニットごとに個別設定が出来ます。

設定は、フィルターホルダーをセットしBボタンを5秒以上押します。ボタンが点灯し、「PROGRAMMING DOSES SELECT IN 30 SEC」の表示が現れるので、30秒以内にプログラムしたいメニューのボタンを押します。例えば、Aボタンを押すと、エスプレッソの設定が出来ます。



・Aボタンが選択されると、Aボタンが点灯し、Bボタンは点滅となります。

・必要な量のコーヒーが抽出されたら、Aボタンを押し抽出を止めてください。これにより、そのボタンでの抽出量が設定されます。

・同様にほかのボタンに対しても抽出量の設定を行ってください。

・最後にボタンを押してから30秒経つと、自動的にプログラムモードが終了します。

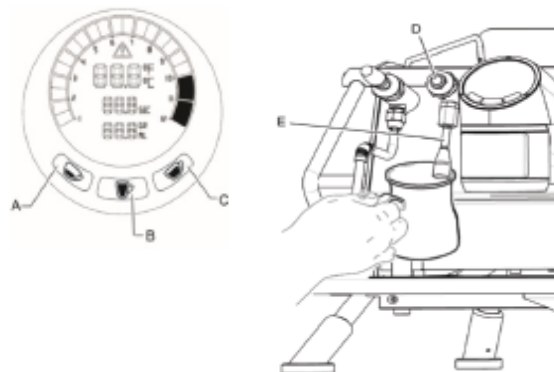
2. お湯の吐出量の設定

・お湯を受けるピッチャーを吐出口の下にセットします。

・Bボタンを5秒以上押し、プログラムモードに入ります。

Dボタンを押してお湯を出し、必要な量のお湯が出たら再度Dボタンを押してお湯を止めます。

・30秒後に自動的にプログラムモードが終了します。



3. 各パラメーターの設定

設定モードに入るためには、左側のユニットのBボタンとDボタンを同時に押します。

Bボタンを押すと設定値をメモリーし、次の機能設定に移ります。

左右のユニットでそれぞれ個別に設定可能ですが、カップウォーマーは左側のユニットで設定します。

3-1 コーヒー用の湯温設定

図の設定画面が表示されます。

Aボタン、Cボタンを押して設定値を変更します。

変更後、Bボタンを押すと設定値をメモリーし、次の設定項目に進みます。



3-2 カップウォーマーの設定（左側のユニットでのみ設定可能です）

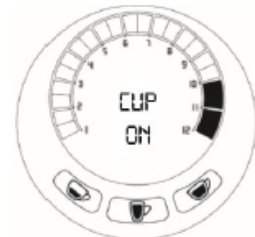
図の設定画面が表示されます。

Aボタン、Cボタンを押すことで「ENABLE」（有効）、「DISABLED」（無効）の選択ができます。

「ENABLE」を選択してBボタンを押すと、温度設定画面になります。

Aボタン、Cボタンを押して設定温度を設定し、Bボタンを押します。

設定値がメモリーされ、次の設定項目に進みます。



3-3 蒸らし抽出

図の設定画面が表示されます。

Aボタン、Cボタンを押すことで「ENABLE」（有効）、「DISABLED」（無効）の選択ができます。

「ENABLE」を選択してBボタンを押すと、温度設定画面になります。

Aボタン、Bボタンを押し、予備抽出の時間を変更します。

Bボタンを押して設定値をメモリーします。

P1からP4の4項目について設定出来ます。

P1 エスプレッソコーヒー(1杯)

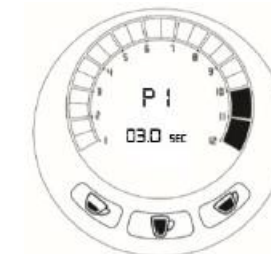
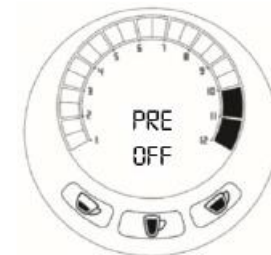
P2 ロングコーヒー(1杯)

P3 エスプレッソコーヒー(2杯)

P4 ロングコーヒー(2杯)

なお、Bボタンに対しての予備抽出の設定はできません。

設定後、Bボタンを押して次の設定項目に進めます。



3-4 抽出量の設定

図の設定画面が表示されます。

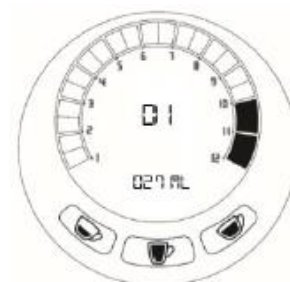
Aボタン、Cボタンを押し、抽出量を設定します。

設定後、Bボタンを押して設定値をメモリーします。同様に、D1～D4およびDCの各項目について設定します。

- D1 エスプレッソコーヒー(1杯)
- D2 ロングコーヒー(1杯)
- D3 エスプレッソコーヒー(2杯)
- D4 ロングコーヒー(2杯)
- DC 連続抽出ボタン用

設定後、Bボタンを押して次の設定項目に進めます。

※Bボタンで抽出量を設定しても、ボタンを2回押すことで連続抽出が可能です。(通常動作時)

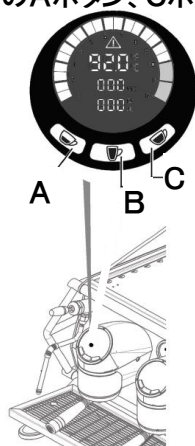


3-5 ボイラー及びその他項目の設定

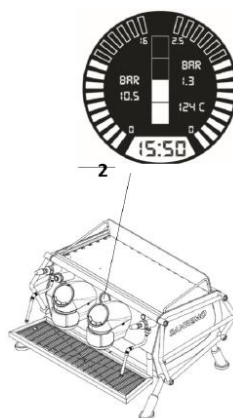
本体中央部に表示されるディスプレイを使い、時間設定などを行います。

設定モードに入るときは、左側抽出ユニットのBボタンを約10秒間押します。

設定は左側ユニットのAボタン、Cボタンで行います。



Bボタンを10秒押します

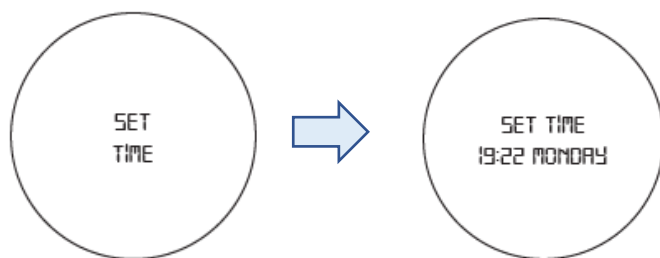


設定メニューが表示されます

・時間設定

右側のユニットのAボタンを押して時間設定を選択します。

左側ユニットのAボタンとCボタンを押して時間設定を行い、設定が完了したらBボタンを押して次の設定項目に進めます。



・自動電源オン設定

左側ユニットAボタン、Cボタンを押して時間設定を行います。
この時間設定を行うと、指定された時間になると自動的にマシン
がオンになります。自動オンを無効にする場合は、時間表示を
「--:--」とします。

完了したらBボタンを押し、次の設定に進みます。



・休日設定

左側ユニットAボタン、Cボタンを使い、休日の選択を行います。
設定が完了したら、Bボタンを押し、次の設定に進みます。



・実績表示

合計水量、メンテナンス回数、抽出回数が表示されます。
Bボタンを押すと次の設定に進みます。



・洗浄の実施

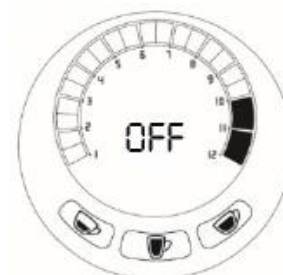
抽出ユニットの洗浄を行います。Aボタン、Cボタンを押して洗浄を実施
するか否かを選択します。
洗浄を実施する場合、開始前に別項記載の洗浄の準備を行ってください。

もう一度Bボタンを押すと、設定モードを終了し、通常の動作状態に戻ります。



4. ユニットごとのオン/オフ設定

抽出ユニット毎に個別にオン/オフ設定が出来ます。
ユニットをオフする場合は、オフしたいユニットのBボタンとCボタンを同時に
押します。左側のユニットをオフにすると、右側のユニットも自動的にオフに
なります。オフになると図の様な表示が出来ます。



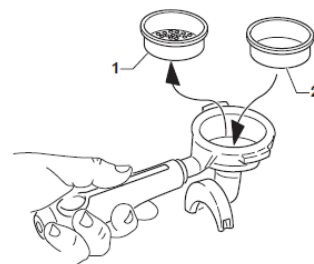
クリーニング方法(お手入れ)

※清掃する際、コーヒー抽出時と同様にホルダーをマシンにセットして抽出動作を行いますので火傷しないよう注意して操作してください。

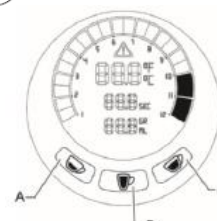
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用をしてください。

1-1 毎日の清掃方法

- ① 抽出口のクリーニング（日々の清掃）本機能は、電源が入った状態で行います。
フィルターホルダーからフィルター(1)を取り外します。
ブラインドフィルター(2)をセットします。



- ② 左抽出パネルのBを約 10 秒間長押しします。
中央のディスプレイが『CLOCK ADJUST』と表記するまで長押しします。
- ③ ボタンを一度離し、続けてBボタンを 2 回押して、「COMPLETE WASH」が表示しています。



- ④ AボタンとCボタンで YES に切り替え、Bボタンで確定します。



- ⑤ 「COMPLETE WASH INS. DETERGENT」の表示となりますので、ブラインドフィルターに交換済みの各ホルダーにクリーナー1 錠ずつ入れ、マシンにセットします。



- ⑥ Bボタンを押すと洗浄を開始します。
抽出は 2 つの抽出口より約 1 分間断続的に抽出を行います。



- ⑦ 第一工程の洗浄が終わると、ディスプレイには「RINSING PRESS ENTER」の表示が出ます。
一度、フィルターホルダーを外して流水で流し、汚れを取ります。
洗剤を入れずに再びフィルターホルダーをセットし、B ボタンを押し、
すすぎのための抽出を繰り返します。
洗浄中は「RINSING」の表示となり、約 1 分間断続的に抽出を行います。
洗浄完了後、マシンは通常どおり立上った状態のディスプレイ表示に戻ります。



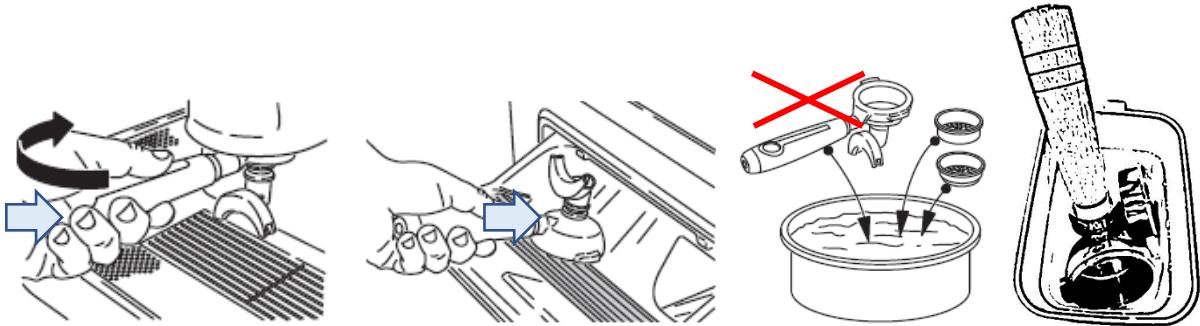
すべての洗浄が終わったら、フィルターホルダーをマシンから取り外し、ブラインドフィルターを取り外した時に流水ですすいだ後、通常のフィルターに戻してコーヒーが正しく抽出されることを確認してください。

1-2 本体の清掃

本体の洗浄には、研磨剤などが入っていないコーヒーマシンや食器洗い器専用の洗剤を使ってください。
※高圧洗浄機での清掃は行わないでください。

・フィルターおよびフィルターホルダー

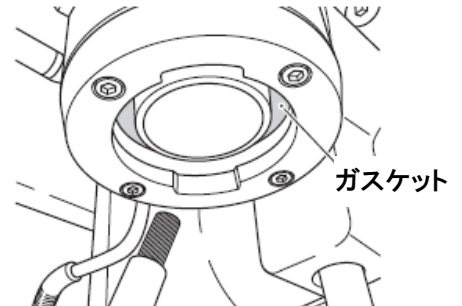
フィルターホルダーを取り外し、中身を空にしてください。
フィルターをホルダーから外し、流水で流した後、専用の洗剤をいれた容器にしばらく浸してください。
フィルターホルダーのハンドル部分は洗剤に浸けないでください。特に材質が木のものは変質したりひび割れたりするため絶対に洗剤には浸けないでください。



ハンドル部は洗剤に浸けない
フィルター部分のみ浸ける

・コーヒー抽出口

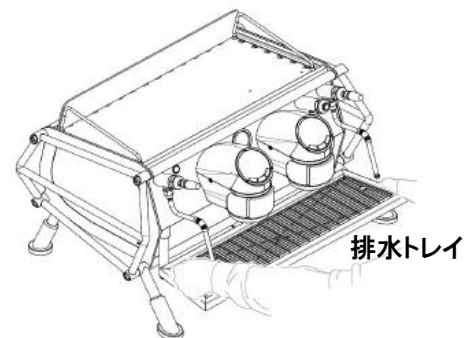
スポンジで抽出口底面を清掃し、柔らかいブラシでガスケット部分を掃いて汚れを落としてください。



ガスケット

・排水トレイ

排水トレイを外し、流水で流しながら清掃します。
清掃後は柔らかい乾いた布で拭き、乾いた後元に戻します。



排水トレイ

・スチームノズル

スチームノズルは、必要に応じ専用洗剤を使い清掃してください。



・本体

本体は湿らせた布で拭いて清掃してください。

サービスマンによる点検について

安定した動作を継続させるために、サービスマンによる定期的な点検をお勧めします。

詳しくは弊社コールセンターにお問い合わせください。

各アラームとトラブルシューティング

各アラームについて

1-1 コーヒーが出ない、抽出口よりお湯が出ない

水が無いとき、コーヒーが出ない場合(フィルターホルダーが取り外された状態)、抽出選択されたボタンが点滅し、異常を知らせます。

1-2 給水アラーム

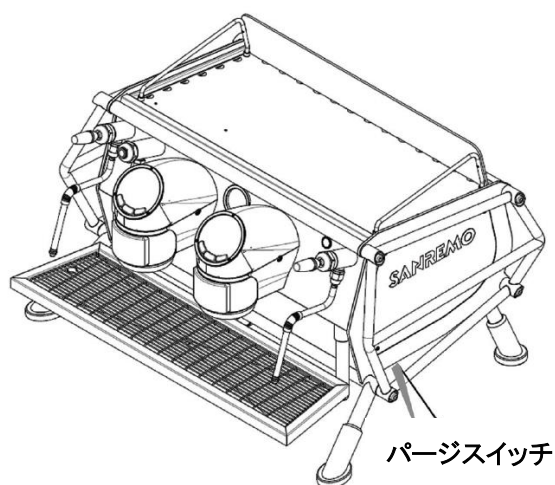
ボイラーへの給水に障害が発生した場合、給水開始から120秒後経過してもボイラーの水位が規定値に到達しない場合は、ボイラーディスプレイのスケール表示が点滅します。

給水が正しく行われているかを確認してください。水が供給されると自動的に復帰します。

コーヒー経路 湯の循環

定期的に(週一回程度)コーヒー経路のお湯を循環させる事で滞留を防ぎ安定したコーヒー抽出が可能になります。

本体底面の右下側のパージスイッチ(経路の空気抜き)を約 30 秒間押し続けて経路を循環してください。



2. こんなときは

以下の確認を行い、障害が復旧しない場合はコールセンターにお問い合わせください。

トラブル内容	原因	処置
ボイラーのレベル表示が点滅する。	水の元栓が閉じていないか ボイラーの給水障害	水の元栓を開けてください。 電源を5秒程度切り、再度電源を入れる。
水が抽出口から出ない	水フィルターのパルプが閉まっている フィルターが目詰まり 浄水フィルターの詰まり	フィルターの栓を開ける フィルターの清掃、交換 浄水フィルターの清掃
水温が上がらない	ヒーター不良 温度センサーの不良	コールセンターにご連絡ください
水がずっと供給され、止まらない	水位センサーの障害	コールセンターにご連絡ください
コーヒーが正しい量で抽出されない	センサー不良	コールセンターにご連絡ください
蒸気ノズルからの蒸気漏れ	シール用ガスケット不良	コールセンターにご連絡ください
フィルターホルダーと本体の間からの水漏れ・蒸気漏れ	ガスケット不良または、フィルター部の凹凸	コールセンターにご連絡ください
コーヒーがフィルターホルダーから溢れる	①フィルターホルダー部の汚れ ②ガスケットの摩耗 ③抽出ヘッドの詰まり	①清掃を実施してください ②ホルダーパッキンを交換してください ③クリーニングを実施してください
コーヒーが冷たい	マシンが温まっていない	温度が上がるまでお待ちください。
コーヒーが抽出されない、遅い	水の供給が不足している フィルターホルダーの詰まり 豆の挽き目が細かすぎる	清掃 清掃 グラインダー調整
スチームが出ない	スチームノズル詰り	ノズルや清掃を実施、改善しない場合は コールセンターに連絡ください
お湯が出ない	元栓が閉じている ソレノイドバルブの不良	元栓を開ける コールセンターに連絡ください。

保証とアフターサービス

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間:365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 Café RACER |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書(業務用マシン)		
型 名	Café Racer	
シリアル番号		
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	お 名 前	
	住 所	〒 電話()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマテック保証サービス(以下「本保証」といいます。)は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマテックジャパン株式会社(以下「ブルーマテック」といいます)がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品(以下「本製品」といいます。)について、「保証サービス規程」(以下「本規程」といいます。))に定めるところに従い、無償修理(以下「保証修理」といいます。)を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。

2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。(以下、この期間を「保証期間」といいます。)。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマテックより交換品(新品)が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。(以下、「上限金額」といいます。)なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマテックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

- 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
- メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

- 本製品の修理方法を問わず、ブルーマテックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
- 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
- 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
- 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
- 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
- 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマテックコールセンター(下記記載)に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマテックコールセンター045-947-0804

- お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマテックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報(製品情報及び個人情報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書(必要情報が記載されております。)の保管・管理に十分ご注意くださいませうお願いします。
- ブルーマテックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
- お客様のご都合により、修理受付日から1ヵ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマテックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合、本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマテックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマテックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理(代替品の提供を含む。)に際してブルーマテックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。

5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その“利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止(以下「開示等」といいます。))に

応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。)並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマテックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマテックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等)、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損害(車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。)
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等)の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品(浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマテックジャンプが指定する部品)の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態を確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等)。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む)。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマテックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整(味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シール・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真实性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品(シリアル番号等が異なる場合等)の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合(但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。)

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマテックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。)、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます。)に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までに発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマテックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマテックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマテックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマテックにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。)に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマテックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマテックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマテックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマテックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社:〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



240514